

令和7年度 安全安心対策本部の取組み

1) 事務局機能の強化

R7年度は、区長補佐担当部と危機管理担当課が事務局機能を担いながら、関係部署が協力・連携して進めていく

2) 本部のメンバー構成

本部長：天貝副区長 副本部長：上野副区長・清野教育長 本部員：政策経営部長・区長補佐担当部長・危機管理監・清掃環境部長・健康部長・土木担当部長・企画課長・広報課長・シティプロモーション課長・防災危機管理担当課長・危機管理担当課長・治安対策担当課長・環境保全課長・ごみ減量推進課長・豊島清掃事務所長・地域保健課長・土木管理課長・道路整備課長・公園緑地課長・庶務課長

3) 活動分野

- ①イメージ・情報発信 ②治安・特殊詐欺 ③ポイ捨て・環境美化・路上喫煙・喫煙所整備
④受動喫煙 ⑤放置自転車・道路・公園

R7年度の重点的な取組み

『みんな パートナー』を基本に各部署での取組を展開し、池袋のイメージ向上を図る
特に、次の項目について重点的に取り組んでいく

- * シルバースターズを活用したまちのイメージアップ * 放置自転車対策（全国ワースト2）
* 学生等若者と連携した環境浄化パトロールの実施 * 新規喫煙所設置

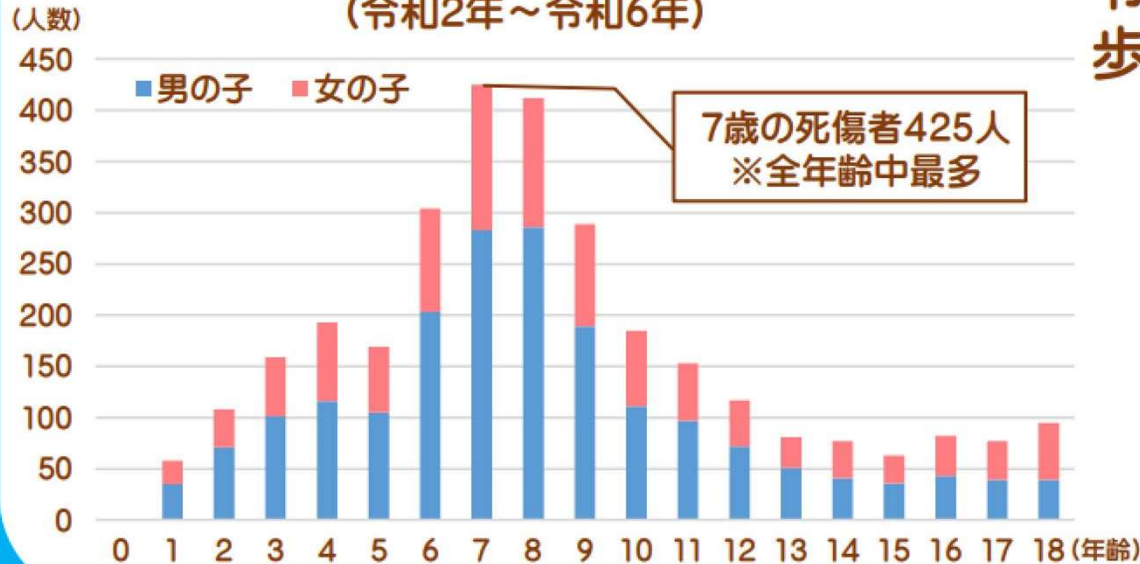
令和7年度 安全安心対策本部

4) スケジュール

- * 4/22 第1回 安全安心対策本部 各部署の取組みの共有
- * 4/23 子どもたちを交通事故から守る取組み強化月間」の実施 ※定例記者会見資料
- * 5/21 区長定例記者会見 街づくりイメージアップ事業 シルバースターズの活用
- * 第2回定例会 上記補正予算計上

7歳があぶない！

18歳までの都内歩行者年齢別死傷者数
(令和2年～令和6年)



7歳の死傷者425人
※全年齢中最多

令和2年から令和6年の間、歩行中の交通事故は

7歳が最多でした。



警視庁ホームページより (一部抜粋)
https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/kotsu/jikoboshi/torikumi/kotsu_joho/kodomo.html

都内の状況

- ・歩行中の交通事故死傷者が最も多くなっているのが7歳
- ・7歳児の死傷者数は4月から6月にかけて増加する傾向



06 子どもたちを交通事故から守る取組み強化月間

「地域と共に支えあう安全・安心なまち」を实践

関係機関が一体となって子どもたちの安全を確保

それぞれの取組

豊島区	<ul style="list-style-type: none"> 区内77か所に学童安全通学指導員 新1年生を対象に「おかえりサポート」(4月) 下校時に青パトが巡回
区立小学校	<ul style="list-style-type: none"> 通学路の安全点検による安全指導(4月) 警察等の協力を得て新1年生に交通安全教室を実施(5月末まで) コミュニティ・スクール※による気運醸成

※学校と地域が知恵を出し合い、学校運営に意見を反映する仕組み

